

Asymptotic behavior of eigenvalues of the Laplacian on a thin domain under the mixed boundary condition

倉田 和浩 (首都大学東京・理工) kurata@tmu.ac.jp

Abstract: この講演では、幅 $\epsilon > 0$ の細い領域でのラプラシアン Δ の Dirichlet-Neumann 混合境界条件のもとでの固有値 $\{\lambda_k(\epsilon)\}$ を考え、 $\epsilon \rightarrow 0$ としたときの各 $\lambda_k(\epsilon)$ の漸近挙動についての研究結果 (北大・神保秀一氏との共同研究) について紹介する。

$\Omega \subset \mathbf{R}^n$ ($n \geq 2$) を有界領域でなめらかな境界 $\Gamma = \partial\Omega$ をもつとする。十分小さい $\epsilon > 0$ に対して、 $\Omega(\epsilon) = \{x \in \Omega \mid d(x, \Gamma) < \epsilon\}$, $\Gamma(\epsilon) = \{x \in \Omega \mid d(x, \Gamma) = \epsilon\}$ と置いて、次の固有値問題を考える:

$$-\Delta\Phi = \lambda\Phi \quad \text{in } \Omega(\epsilon), \quad \Phi = 0 \quad \text{on } \Gamma(\epsilon), \quad \frac{\partial\Phi}{\partial\nu} = 0 \quad \text{on } \Gamma, \quad (1)$$

ここで $\nu(x)$ は Γ 上の外向き単位法線ベクトルとする。 $\{\lambda_k(\epsilon)\}_{k=1}^{\infty}$ で $0 < \lambda_1(\epsilon) < \lambda_2(\epsilon) \leq \lambda_3(\epsilon) \leq \dots \rightarrow +\infty$ なる固有値の列を表すこととし、 $\{\Phi_{k,\epsilon}(x)\}_{k=1}^{\infty}$ を付随する固有関数の列とする。 $H(\xi)$ で、 $\xi \in \Gamma$ における平均曲率関数を表すとき、次を得る。(ただし、ここでの平均曲率関数は、 $\partial\Omega$ が半径 R の球面のとき、通常 $n-1$ 倍をしたもので、 $H(\xi) = (n-1)/R$ となるように符号を定めたものである。)

Theorem 1 $k \geq 1$ を固定する。このとき、 $\epsilon \rightarrow 0$ において、次が成り立つ:

$$\epsilon^2 \lambda_k(\epsilon) = \bar{\lambda}_1 - \left(\max_{\xi \in \Gamma} H(\xi) \right) \epsilon + O(\epsilon^{3/2}).$$

ここで、 $\bar{\lambda}_1 = \frac{\pi^2}{4}$ および $\phi(s)$ は、次の第 1 固有値および固有関数である:

$$-\phi''(s) = \lambda\phi(s), \quad s \in (0, 1), \quad \phi'(0) = 0, \quad \phi(1) = 0.$$

さらにある非退化条件を満たすとき (講演の際に詳細を述べる)、次のより正確な漸近挙動を得る。

Theorem 2 $H(\xi)$ が唯一つの最大点 $\xi^* \in \Gamma$ of $H(\xi)$ をもち、そこで非退化であるとする。このとき、 $k \geq 1$ を固定したとき、ある正定数 Λ_k が存在して次が成り立つ:

$$\epsilon^2 \lambda_k(\epsilon) = \bar{\lambda}_1 - \left(\max_{\xi \in \Gamma} H(\xi) \right) \epsilon + \Lambda_k \epsilon^{3/2} + o(\epsilon^{3/2}) \quad \text{as } \epsilon \rightarrow 0.$$

講演では、 Λ_k の正確な定義とともに、これらの証明の概略の紹介、関連する話題 (ある非線形楕円型境界値問題の分岐問題への応用, quantum wave guide problem との関連) についても紹介する。